



平成 27 年度

新東名高速道路建設に伴う発掘調査・厚木秦野道路建設に伴う発掘調査

かすや やかたあと

糟屋館跡 発掘中



地域の特色ある埋蔵文化財活用事業



縄文時代（約 4000 年前）の注口土器（20 東区）

糟屋館跡遺跡範囲

★秋山高架②地区

★秋山南地区

伊勢原市上粕屋に所在する糟屋館跡（伊勢原市 No.74 遺跡）では、平成 26 年度から新東名高速道路建設・厚木秦野道路建設に伴う発掘調査を行っています。旧石器時代に始まり、縄文時代から江戸時代にいたる各時代の遺構・遺物が発見されています。今回は現在調査している一部分を紹介いたします。なお、調査は今後も継続して行う予定です。

糟屋館跡見学会資料

2016（平成 28）年 2 月 27 日（土）（28 日予備日）

主催 公益財団法人かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1

Tel 045-252-8689 <http://www.kaf.or.jp>

共催 伊勢原市教育委員会



秋山南地区

厚木秦野道路建設に伴う発掘調査



近世の頃は耕作地であったと考える
画面手前にはローム面が見られる



中世馬の歯が出土した土坑



C2号溝状遺構。幅6～7m、深さ2m前後で用水路の役割を持っていたのではないかと考える



古墳時代中期の高環が出土した土坑



縄文時代の陥穴
先端を尖らせた杭などを固定するための施設がある

秋山高架②地区

新東名高速道路建設に伴う発掘調査



中世の堀跡
幅3m、深さ1mで、断面が逆台形
台地裾をめぐる(20東区)



縄文時代(約4000年前)の谷
集落に隣接する生活跡の発掘(20西区)



近世の井戸
富士玄武岩製の茶臼が出土(20西区)



近世前半の溝跡(22南区)



縄文時代の配石遺構
重さ50kg前後の川原石が並べられ、中に石棒を立てている
(21南区)